

コロナ禍の、ユニークで非常に重要な映画。

☆☆☆☆☆

『天安門、恋人たち』以来の**最高傑作**。

— The Guardian

ロウ・イエ
監督作品

未完成の映画



第77回 カンヌ国際映画祭
特別招待作品

第61回 台北金馬獎
最優秀長編映画作品賞、最優秀監督賞受賞

第25回 東京フィルメックス
観客賞受賞

監督:ロウ・イエ(婁燁)

脚本:ロウ・イエ(婁燁)&マー・インリー(馬英力)

プロデューサー:マー・インリー(馬英力)&フィリップ・ボバー エグゼクティブプロデューサー:アレックス・C・ロー ウラジーミル・セムツォフ モンヤ 撮影監督:ゾエン・ジェン(曾劍)
音響デザイナー:ラー・カン(富康) 美術デザイナー:ジョン・チョン(鍾誠) 編集:テイエン・ジアミン(田佳蓉) 編集者:ベンジャミン・ミルゲ VFXスーパーバイザー:ワン・レイ(王磊)
PRマネージャー:ヤン・シャオライ(楊曉來) ラインプロデューサー:シューラ(徐來) 共同プロデューサー:クレメンス・クストリン
出演:チン・ハオ(秦昊) マオ・ジャオレイ(毛小睿) チョー・シー(齊溪) ホアン・シェホン(黃軒) リヤン・ミン(梁鳴) チェン・フンウェン(張頌文) コウウ(油井)

提供: Coproduction Office 製作: Yingfilms Pte. Ltd., Essential Films

共同製作: Cinema Inutile, ZDF/ARTE, Gold Rush Pictures, Teamfun International

2024年、シンガポール、ドイツ、中国語、107分、2K、カラー、5.1、11.85、日本語字幕、韓国語字幕、英語: An Unfinished Film 配信: 買伝: アップリンク

© Essential Films & Yingfilms Pte. Ltd.



コロナパンデミックの 「集団的トラウマの記録」を リアルに描いた傑作

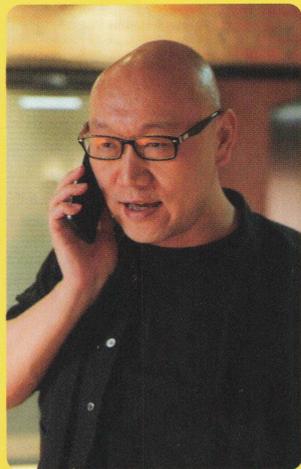
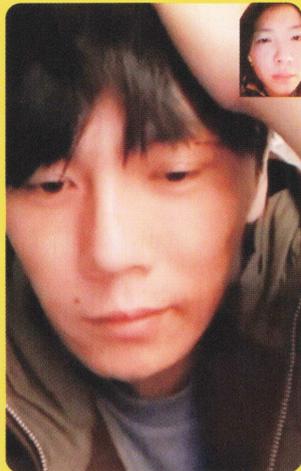
本作は、第77回カンヌ国際映画祭特別招待作品として上映されると同時に、映画祭でドキュメンタリー作品に与えられる「金の眼賞」にもノミネートされた。また第61回台北金馬獎の劇映画部門で最優秀作品賞と最優秀監督賞のダブル受賞。さらに第25回東京フィルメックスでは観客賞を受賞した。

ドキュメンタリーと劇映画の要素を融合させたフェイクドキュメンタリーという形式に加え、コロナ禍で実際に撮影されたスマホ映像を織り交ぜることで、虚実が多層的に交錯する映画となっている。2019年コロナウィルスが発生したと言われる中国武漢に近い都市を舞台に、映画制作を行っていた人々を描くことにより、パンデミック時の「集団的トラウマの記録」をリアルに描いた映画がロウ・イエ監督の最新作『未完成の映画』だ。



物語

映画の冒頭、マオ・シャオリイ監督は、10年前に中断された映画を完成しようと、キャストとスタッフを再び集める。そこで編集用のモニターに映し出される映像は、ロウ・イエ監督の過去作『スプリング・フィーバー(2009)』『二重生活(2012)』『シャドウプレイ(2018)』などの本編と未収録映像。それらの作品の主人公を演じたジャン・チェン(チン・ハオ)が俳優役としてスタジオに訪れる。シャオリイ監督と話し合いが行われ、クリア映画で完成しても中国では公開されないことが分かった上で撮影が再開される。映画は虚実が交錯する設定で始まる。ようやく撮影が終わろうとした2020年1月、未知のウィルスの噂が広がり始める。武漢から来たクルーの帰宅、スタッフたちの間で高まる不安、そしてニュースに釘付けの日々。シャオリイ監督は撮影を続けるか、それとも中断するのか決断を迫られる。



ロウ・イエ監督コメント

「コロナ禍は映画との向き合い方を根本から変えた。それまで映画はスクリーン上の物語だったが、パンデミックの中でその意義が揺らぎ、人々はスマホをスクロールし続ける日々を送った。分断された世界の中で、それでもなお“映画を作ること”が何を意味するのか？ スタッフ全員がこの問いを共有し、その答えとして本作を完成させた」

「近年のパンデミックやその他の災害を描いた作品の中でも類を見ないほど脈動するようなリアリズムを達成している」

—Variety

「COVID-19により中国は大きく揺らいだ。ただ映画ではそのことを明確には語らない。中国の第6世代の監督であるロウ・イエは対立を求めるのではなく、ただ現実をリアルに映し出そうとしている」

—BBC中国語

5.2 金 公開

JR 池袋線池袋駅3分 三軒がら7階
UPLINK 吉祥寺
0422-160-6042 uplink.co.jp

ビックカメラ2 (池袋線池袋駅3分)・JR 池袋線池袋駅3分 三軒がら7階
角川シネマ有楽町
03-6268-0015 www.kadokawa-cinema.jp
全席指定・税込1,980円

池袋駅・ロウ・イエ
池袋シネマ・ロサ
03-33963-2713
<http://www.cinemarosa.net>

JR 池袋線池袋駅3分 三軒がら7階
CINE QUINTO
03-53477-9905
<http://www.cinequinto.com/ibuy/>

ほか全国順次公開